

水素エンジン漁船の開発と応用

独立行政法人 水産大学校
海洋機械工学科

水素エンジン船舶研究会
代表: 日本海洋産業株式会社

地球温暖化防止



代替燃料の開発

水素エンジン漁船

船内機船



船内機船に搭載した
47ℓ (7 m³) H₂ボンベ

沿岸漁業の再生
漁村地域の活性化
CO₂の排出削減

船外機船



海洋環境保全のための地球温暖化防止と、化石燃料費の高騰で経営に困窮している水産業者のために代替燃料の開発が急務となっています。

山口県は日本一の副生水素の産出県です。その水素を既存エンジンの燃料に活用し、5トン未満の小型沿岸漁船を主たるターゲットとして、水素エンジン船舶研究会と協働して水素エンジン漁船の実用化に向けた研究を実施しています。

独立行政法人 水産大学校海洋機械工学科
研究代表者: 江副 覚 (ezoe@fish-u.ac.jp)